

経済統計 練習問題

第 28 回 国民経済計算 (1)

2018 年 1 月 22 日

問 1 農家、醸造業、酒屋の 3 つの産業と家計からなる経済を考える。この経済で次のような行動がとられていたとする。ただし以下の数字はすべて金額をあらわすものとする。

- 農業 … 米を生産し、醸造業に 40 で売る。
- 醸造業 … 農業から米を 40 で買い、日本酒を生産し酒屋に 90 で売る。
- 酒屋 … 醸造業から日本酒を 90 で買い、115 を家計に売り、10 を在庫にまわす。

ここでさらに、次のような状況があるとする。

- 農業、醸造業、酒屋にはそれぞれ間接税が 5 ずつかかる。
- 醸造業は使っている機械の価値が 10 減る。

このような経済について以下の各問に答えよ。

1. この経済の産業連関表を作成しなさい。

		産業			最終需要		合計
		農業	醸造業	酒屋	家計消費	在庫増加	
産業	農業						
	醸造業						
	酒屋						
総付加価値	固定資本減耗						
	税						
	純付加価値						
合計							

2. 国内総生産 (GDP) はいくらであるか求めよ。

3. 国民所得 (NI) はいくらであるか求めよ。(海外との要素移転のやりとりはないものとする。)

問 2 次の表は、封鎖経済の下で、すべての国内産業が P,Q 及び R の三つの産業部門に分割されているとした場合の産業連関表であるが、表中のア～カに該当する数字の組合せとして、妥当なのはどれか。

		産業			最終需要	総産出額
		P 産業	Q 産業	R 産業		
中間投入	P 産業	10	30	ア	100	190
	Q 産業	20	80	60	イ	ウ
	R 産業	40	90	90	170	390
付加価値		エ	110	190		
総投入額		オ	310	カ		

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	50	150	310	120	190	390
2	50	150	320	120	190	390
3	60	160	310	120	140	390
4	60	160	320	70	140	400
5	60	160	310	70	140	400

(東京特別区 2007)